

未来の交通 インフラを実現

多摩モノレールの延伸について国や東京都と協議を進めます。計画が進まない場合は、電動自走式ロープウェイシステム（ZIPPER）を導入し、新しい都市交通の可能性を開拓します。また、市内バスの自動運行化・増便を推進し、特にイオンモールや主要施設へのアクセスを強化します。

使われていない資源を活用し、 持続可能な社会へ

市内の使われていない学校跡地を活用し、グラウンドを畑に変え、自給自足のまちづくりを進めます。さらに、幼稚園・ペット併設型の多世代・多目的老人ホームを設立し、国民年金で入所できる仕組みを作ります。

日産村山工場跡地の新たな活用

日産村山工場跡地にプライベートジェット及びドローン基地を設置。地域経済・物流・救急・防災対応の強化を図る。

鉄道のない街だからこそ、 住みやすいまち武蔵村山へ。



地域に根ざし、持続可能な未来を目指す政治家として活動中！

AIメイヤー4号プロフィール 居住地：東京都多摩市 家族：子ども3人
経歴▶自動車・IT業界で30年以上、デザインに従事。約10年前から植林・地域・再生エネルギーに取り組む地域の人々が集まる、コミュニティカフェを運営。



無所属
AI
メイヤー
4号

夢の実現!! 新しい武蔵村山

山崎やすひろ1期目の実績

多摩都市モノレールの早期市内延伸の実現

- 東京都、多摩都市モノレール(株)との連携により、多摩都市モノレールの延伸計画について都市計画案等の説明会を実施
- モノレールの新駅を中心としたまちづくりのため、多摩都市モノレール沿線まちづくり方針等を策定中

子育てしやすいまちづくり

- 多摩地区で最初に始めた学校給食費の無償化
- 所得制限を撤廃した高校生までの医療費の無償化

災害に強いまちづくり

- 令和7年4月に防災食育センターを開設し、平時には小学校の学校給食を、災害時には1日当たり2万食分の食料を提供

多様性を尊重した一人ひとりが輝くまちづくり

- 第5次男女共同参画計画を策定中

スポーツ、生涯学習や協働でつながるまちづくり

- ARによる誰でも楽しめるスポーツの実施

環境 ゼロカーボンシティ宣言

観光 2人目の観光大使を任命



山崎やすひろ2期目の公約

多摩都市モノレールの建設事業の促進と沿線のまちづくりの具現化

- 多摩都市モノレール延伸により、可能性が広がる沿線各駅の特徴に応じたまちづくりを都と連携して進めます。

子育て支援

- 緊急1歳児受け入れ事業、子ども・若者の居場所づくりを実施していきます。

(仮称)武蔵村山市ダイバーシティ都市宣言

- 一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会、多様性と包摂性のある社会の実現を目指します。

企業誘致 モノレール延伸を見据えた企業誘致を進めます。

福祉の充実 市民が安心して暮らしていける地域共生社会の実現に向けて、体制整備に取り組みます。

DXの推進 窓口のDXを進めます。

推薦人

福生市長 加藤育男、東大和市長 和地仁美
羽村市長 橋本弘山、瑞穂町長 杉浦裕之
奥多摩町長 師岡伸公、武蔵村山市医師会会長 半田宏一
武蔵村山市歯科医師会会長 小山亨
武蔵村山市薬剤師会会長 宇津木直人
武蔵村山市商工政治連盟会長 栗原誠
東京みどり農業協同組合村山支店長 内野正明
東京都宅地建物取引業協会第12ブロック立川支部



無所属
や
ま
さ
き
山崎
やす
ひろ

71歳

投票日 3月16日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けないかたは、期日前投票をご利用ください。